

向原町の不思議

参考資料：向原町の民話と伝説

七 飛び出す 絵馬の馬!?

熊野神社に宝永元年(1704年)に奉納された絵馬には、躍動感あふれる馬が描かれています。この馬が夜中に額から抜け出し作物を荒らすので、新たに手綱を描かせたという逸話が残っています。



八

年に1度だけ満たされる池
正敷田バス停の奥にある「明神池」。毎年、6月17日になると池の水がいっぱいになるといふ不思議な伝説が残っています。

美土里町の不思議

参考資料：美土里の歴史と伝説

九



複雑な地形からか、山頂が分かりにくく迷いやすい山として、古くから「妖怪多き山」と恐れられてきた犬伏山。山頂には枝や幹がくねくねと曲がりくねった珍しい樹形をしたテングシデが群生し、その神秘的な光景から天狗が住んでいるとも噂されています。蛇切谷伝説や鰻沼伝説など様々な伝説が伝えられていますが、中には幸せをもたらせるものも。山中には黄金のにわたりの雄雌がいて、大みそかの夜にだけ時刻を告げるのだそう。雌の声を聞いた人には必ず幸運が訪れるとされています。

犬伏山 いろいろ出そうな

天狗が住んでいるとも噂されています。蛇切谷伝説や鰻沼伝説など様々な伝説が伝えられていますが、中には幸せをもたらせるものも。山中には黄金のにわたりの雄雌がいて、大みそかの夜にだけ時刻を告げるのだそう。雌の声を聞いた人には必ず幸運が訪れるとされています。

高宮町の不思議

参考資料：高宮町の民話や伝説

十

淵へ引きずりこもうとする クモ

杉の原という所に、「くも淵」と呼ばれる場所があります。木こりが川辺で休憩していると、クモが草履にクモの糸をひっかけて淵に引きずりこもうとしました。運よく草履が脱げて助かったという言い伝えが残っています。長瀬川にも同じような伝説があります。



十一

大畠まつね

薄暗い中を3人で帰っていた時、玉造という場所の原っぱに出ると、辺りが朝日が出たようにパッと真っ赤になりました。驚いてみるとすぐに元の薄暗さに。どうも狐に化かされたようです。



伝説・民話って

なんだらう??

私はこう思う

甲田町在住の重藤剛介さん。有形無形に関わらず、安芸高田市の文化財の保護に尽力した重藤さんに、各地に伝わる伝説・民話についてご自身が感じていることを熱く語っていただきました。

重藤 剛介さん
しげとう ごとすけ
89歳



重藤さんが制作を手掛けた「甲田の昔話 とんかちり」

そ

の昔、この辺りは交通の要所で様々なものが出たり入ったりしていました。それはモノだけでなく、こうした伝説や逸話もそのひとつなのだと思います。私が考えるに、言い伝えのほとんどは、子どもを教育するためにできたものではないでしょうか。「カッパが引く張るけり、川の深い所に行ったらいけんよ」「狐に化かされるけり、薄暗くなったら出歩かんのよ」「あの山には天狗がおるけり近づかんよ」。普通に注意しても気にも留めないことも、怖いもの、恐ろしいものを関連付けることで強烈なインパクトを残します。子どもを危ない目に合わせないための、親心にあふれているように感じます。また、人を親切にすることやものを大切にすることを諭した伝説・民話も多く見受けられます。いわゆる道徳教育のひとつだったのだと思います。伝説・民話に登場する妖怪や大蛇、鬼などは人の心の中に住んでいるもの。それが自然と人を戒め、正しい道へと導いてきたのかもしれない。また、安芸

の昔、この辺りは交通の要所で様々なものが出たり入ったりしていました。それはモノだけでなく、こうした伝説や逸話もそのひとつなのだと思います。私が考えるに、言い伝えのほとんどは、子どもを教育するためにできたものではないでしょうか。「カッパが引く張るけり、川の深い所に行ったらいけんよ」「狐に化かされるけり、薄暗くなったら出歩かんのよ」「あの山には天狗がおるけり近づかんよ」。普通に注意しても気にも留めないことも、怖いもの、恐ろしいものを関連付けることで強烈なインパクトを残します。子どもを危ない目に合わせないための、親心にあふれているように感じます。また、人を親切にすることやものを大切にすることを諭した伝説・民話も多く見受けられます。いわゆる道徳教育のひとつだったのだと思います。伝説・民話に登場する妖怪や大蛇、鬼などは人の心の中に住んでいるもの。それが自然と人を戒め、正しい道へと導いてきたのかもしれない。また、安芸

高田市には、ズル賢い狐が人を化かす話が多いのも特徴です。これは関ヶ原の戦いを機に外様大名となった毛利家が少しひがんでいる様子を表しているのではないかと考えています。私は60年間、安芸高田市文化財保護審議委員会に所属し、甲田町内の文化財の保護などに努めてきました。そのひとつに、甲田町の伝説をまとめた絵本の制作があります。伝説・民話の中には、いわゆる権力者の目で描かれたものも多く、それを称える内容が盛り込まれています。少なからず土地柄を反映した物語は、貴重な資料として残すべきものではないでしょうか。有形、無形を問わず、昔から大切にされているものを守り残していくことに意義があると思います。伝説・民話は、そのまま読めばよく意味が分からなかったり、ただの不思議なお話だったり。ただ、じっくり関心を持って読んでみると、いろいろなことが見えてくるものです。あなたの地域に伝わる伝説や民話はありませんか？そのお話しと向き合うことで、何か新しい世界が開ける…かもしれません。